

尾瀬沼

【コースのご案内】

[1日目] **ご注意：東武快速は前2両日光行、後4両会津田島行**

北千住(7.21) - 快速田島行 - (10.23) 会津高原尾瀬口
(10.50) - バス - (12.45) 沼山峠 - (13.30)
展望台 - (15.30) 長蔵小屋・泊

[2日目]

長蔵小屋(7.00) - 三平下(8.00) - 富士見分岐(8.30)
- この区間鑑賞や写真でノンビリ歩く - 沼尻休憩所(10.30)
- (12.00) 長蔵小屋 休憩・昼食 (12.30) -
(14.00) 沼山峠(14.30) - バス - (16.30) 会津
高原尾瀬口(16.55) - 快速浅草行 - (19.52) 北千住

長蔵小屋連絡：0278-58-7100 (衛星電話で対応)

当日現地ご連絡先：

尾瀬沼への入り口で一番楽な沼山峠ルートを選びました。沼山峠バス停には休憩所が有り、その右手の木の階段が沼山峠への道です。その先は木道になって居り林の中を二十分程で沼山峠です。峠の標識が有りますが、此処は展望が利きませんが、更に百M程進むと展望台に出ます。ここからは尾瀬沼と大江湿原、血伏山、荷鞍山など美しい景観が望めます。ゆつくり展望を楽しんだら尾瀬沼に下り、下り切った所が大江湿原の北端です。のんびりと湿原の花々を楽しみながら木道を進みます。小田代湿原分岐を経て尾瀬沼に到着で、すぐ近くに長蔵小屋が見えます。



夏・尾瀬の花：サギスゲ

二日目は尾瀬沼を一周します。時間を充分に取りましたので、尾瀬を楽しんで下さい。富士見分岐から先は治右衛門池、曲り田代、かたわれ田代、小沼を経て沼尻休憩所です。ここは長蔵小屋の初代が尾瀬に初め

所です。現在は尾瀬沼の眺望を楽しめる開放的な建物で、お土産や、店の奥にはセルフサービスで大福やワッフル、ドーナツなどを買えるコーナーがあり、コーヒーも有りです。此処、沼尻平から先は小湿原が次から次と現れ、尾瀬が満喫できます。最後大入州半島を越えると浅湖湿原を経て長蔵小屋です。昼食後沼山峠への帰路に就きます。

【尾瀬沼と尾瀬ヶ原】尾瀬に行くと言う事は一般的には「尾瀬ヶ原」と「尾瀬沼」をメインにオプシヨンとして「アヤマ平」や「三条の滝」などを含めて計画しますが、皆様のご参加の事を考えますと二泊以上の計画は体力も含めてハードになり過ぎると思います。「尾瀬沼」周辺だけにしました。いだけ湿原や植物も尾瀬沼周囲とそんなに変わ

りませんし、むしろ、狭い範囲に尾瀬の全てが濃縮された感じと見えます。【季節と植物】有名な歌唱のせいで、尾瀬と云うと水芭蕉が出て来ますが、実際、水芭蕉の季節は残雪や雨が多くの天候の安定する七月末から八月上旬の方が開花する花の種類も多く良い季節と思います。ツルコケモモ、イワイチヨウ、ヒオウギアヤメ、オゼコウホネ、ヒツジグサ、ニツコウキスゲ、毛氈ゴケ、キンコウカ、などは丁度良いシーズンです。

【尾瀬の装備】尾瀬は標高も高く周囲は好天でも雲の中の時もあり霧雨等は必ず有ると思つて下さい。また、小屋では石鹸使用禁止等環境汚染には特に留意してください。一、雨具・上下カッパを必ず持参、傘も有効です。靴は雨の漏らさない物が理想です。二、装備・帽子、手袋、登山用杖、タオル二本、ティッシュ、500CCボトル。三、衣類・スベヤ靴下、長袖シャツ、気温が平地より一〇度程度低いと思つて下さい。四、食物・餡、チョコレール、携帯非常食、等。

【東武電車及び会津バス時刻表】 2008/07/22 訂正済み

浅草	北千住	春日部	下今市	会津高原尾瀬口	沼山峠
7.10	7.21	7.44	9.05	10.23	10.50 - バス - 12.45
この電車に乗り遅れましたら当日ご参加をお諦め下さい					
沼山峠	会津高原尾瀬口	下今市	春日部	北千住	浅草
12.30 - バス - 14.25	14.56	15.59	18.01	18.22	18.36
14.20 - バス - 16.30	16.54	18.24	20.21	20.42	20.55
16.20 - バス - 18.15	18.31	20.05	21.55	22.25	22.40

